

アジアにおけるグローバル化とジェンダーの現在—マクロ経済と社会構築

UNDP集中セミナー『ジェンダーとマクロ経済に関する能力構築』パブリック・フォーラム

21世紀の今日、人々の生活に与えるグローバリゼーションの政治的・経済的・文化的影響力を否定するものはいないでしょう。同時に、それらは深くジェンダー問題に関わっています。本フォーラムは、とくに、アジア太平洋地域に焦点を絞りつつ、「マクロ経済とジェンダー」という視点から、現代のアジアの開発、社会再構築の諸問題を捉えなおそうという試みです。

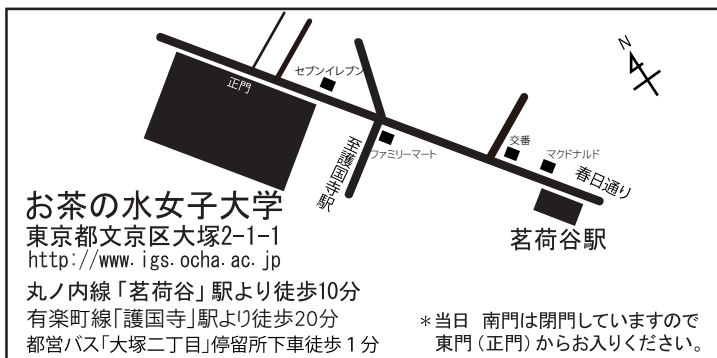
「マクロ経済とジェンダー」という課題は、財政・金融・税制・社会保障・貿易・投資・労働・生活時間・ケア・無償労働・国際移動など、従来の経済の水準においてジェンダー中立的に分析されてきた諸問題が、いかなる経路によってジェンダーと関わりあっているのかについて、明らかにするものです。それらは、国家と地方自治体・地域社会の関係において、政策・制度・文化慣習によって、そして災害など危機の顕在時には、全く様相が異なって発現してきます。

一段と激しく変動し、危機の諸相が顕在化している現在における、オルタナティブな開発と社会再構築について、新たな知の共有と実践を模索していきたいと思っています。

ここに、皆さまのご参集を広く呼びかけます。

参加申込

<http://www.igs.ocha.ac.jp/> から
申込フォームに入力してください。
参加費無料(定員:200名)



【事務局】お茶の水女子大学ジェンダー研究センター
〒112-8610東京都文京区大塚2-1-1
Tel: 03-5978-5846 Fax: 03-5978-5845
Email: igsoffice@cc.ocha.ac.jp



2011年7月9日(土)10:00~17:00
於:お茶の水女子大学 徽音堂(講堂)

9:30 受付開始

午前の部

10:00-12:00

開会の辞/主催 後援団体挨拶
羽入佐和子(お茶の水女子大学学長)
八木浩治(UNDP東京事務所代表代行)ほか

【第1部】

基調講演: **ダイアン・エルソン**(エセックス大学)
「グローバリゼーション下の金融・生産・再生産」

12:00-13:30 昼食

午後の部

13:30-17:00

【第2部】

マリア・フローロ(アメリカン大学)
「環境の危機と社会的再生産: 連関を理解する」

大沢真理(東京大学)
「生活保障システムの比較ジェンダー分析が示すもの:
その機能不全がグローバル不均衡を生む」

ディスカッサント: **足立真理子**(お茶の水女子大学)

【第3部】

マリナ・デュラーノ(マレーシアサイنز大学)
「対アジアODAのジェンダーを探る」

池田恵子(静岡大学)
「災害リスク削減のジェンダー主流化: バングラデシュの
事例から」

竹信三恵子(和光大学)
「日本の災害から見るジェンダー課題」

*講演タイトルは変更の可能性あり。
*最新のプログラム情報については
<http://www.igs.ocha.ac.jp> をご覧ください。

日英同時通訳あり

【コーディネーター】

足立真理子(お茶の水女子大学)
山本由美子(UNDPアジア太平洋地域事務所)

【主催】

お茶の水女子大学 国連開発計画(UNDP)

【後援】

外務省
内閣府男女共同参画局
独立行政法人 国際協力機構(JICA)
国際フェミニスト経済学会(IAFFE)
女性による新時代の代替的開発グループ(DAWN)
ジェンダーとマクロ経済に関する国際ワーキンググループ
(GEM-IWG)